

# 第五次国有林野施業実施計画書

(釧路根室森林計画区)

計画期間 ( 自 平成29年4月 1日  
至 平成34年3月31日 )

策定年月日：平成29年3月27日

北海道森林管理局

## 目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの 伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	
	(1) 伐採造林計画簿	1
	(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	1
	(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	2
	(4) 伐採総量	2
	(5) 更新総量	4
	(6) 保育総量	4
3	林道の整備に関する事項	5
4	治山に関する事項	6
5	保護林及び緑の回廊の名称及び区域	
	(1) 保護林の名称及び区域	7
	(2) 緑の回廊の名称及び区域	9
6	レクリエーションの森の名称及び区域	10
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域	11
8	その他必要な事項	
	(1) 施業指標林、試験地等	12
	(2) フィールドの提供	15
	(3) 森林共同施業団地	15

---

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域  
国有林野施業実施計画図（別添1）による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

区分	面積	取扱いの内容	伐期齢又は回帰年	
			樹種	
単層林施業群	3,789	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林施業群	8,551	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複層林施業群	19,586	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混交林施業群	31,911	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	15年	
育成天然林施業群	47,214	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林施業群	39,003	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
その他施業群	-	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。		
合計	150,054			

注1) 林地面積の集計である。

注2) 計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林	その他
上限伐採面積	304	406	4,877	10,636	15,731	13,001	-

(4) 伐採総量

(単位：m<sup>3</sup>、ha)

区 分	林 地					林地 以外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
山地災害防止タイプ	44,406	(2,353) 108,288	152,694				
自然維持タイプ	-	(255) 10,288	10,288				
森林空間利用タイプ	-	(1,643) 83,255	83,255				
快適環境形成タイプ	-	-	-				
水源涵養タイプ	単層林	21,278	(805) 38,847	60,125			
	長期単層林	-	(2,020) 102,297	102,297			
	複層林	106,051	(4,537) 150,123	256,174			
	混交林	332	(9,105) 457,112	457,444			
	育成天然林	-	(1) 107	107			
	天然生林	-	-	-			
	その他	-	-	-			
	計	127,661	(16,468) 748,486	876,147			
合 計	172,067	(20,719) 950,317	1,122,384	120,000	1,242,384	-	1,242,384
年 平 均	34,413	(4,144) 190,063	224,477	24,000	248,477	-	248,477

注) 上段 ( ) は、間伐面積である。

## (再掲) 市町村別内訳

(単位: m<sup>3</sup>、ha)

市町村名	林 地				林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量		
釧 路 市	14,910	(813) 37,454	52,364			
根 室 市	275	(631) 25,212	25,487			
釧 路 町	-	(701) 28,678	28,678			
厚 岸 町	34,725	(2,985) 126,116	160,841			
浜 中 町	-	(170) 8,156	8,156			
標 茶 町	36,621	(2,860) 129,167	165,788			
弟 子 屈 町	5,763	(5,257) 263,359	269,122			
鶴 居 村	12,854	(2,067) 93,060	105,914			
白 糠 町	328	(551) 28,060	28,388			
別 海 町	37,740	(827) 36,515	74,255			
中 標 津 町	25,897	(2,688) 107,509	133,406			
標 津 町	2,954	(939) 53,108	56,062			
羅 臼 町	-	(231) 13,923	13,923			
合 計	172,067	(20,719) 950,317	1,122,384			

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段( )の数値は間伐面積(ha)を表す。

## (5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
人工造林	単層林造成	5	-	8	-	123	136
	複層林造成	582	-	-	-	2,051	2,633
	計	587	-	8	-	2,174	2,770
天然更新	天然下種第1類	1	-	-	-	-	1
	天然下種第2類	-	-	-	-	10	10
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	1	-	-	-	10	11
合 計		588	-	8	-	2,184	2,780

## (6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合 計
保 育	下 刈	4,160	-	71	-	14,298	18,529
	つる切り	110	5	29	-	294	438
	除 伐	990	46	263	-	2,643	3,942

3 林道の整備に関する事項

基幹・その他別	開設・改良	路線名	箇所(林班)	延長(m)	箇所数(改良)	備考
<b>根釧東部森林管理署</b>						
その他	開設	西別当賀	1031, 1032	2,500		根室市
		ササガラシ線	462	1,400		中標津町
		植崎支線	98	1,200		標津町
		七点沢	121, 123	2,200		羅臼町
		1 2 3 林班線	123	800		〃
	計	5 路線		8,100		
基幹	改良	落石	1018	20	1	根室市、橋梁補修
		クテクンベツ	511	15	1	中標津町、橋梁補修
		武佐	513	15	1	中標津町、橋梁補修
計	3 路線		50	3		
<b>根釧東部森林管理署計</b>						
開設	基幹	-	路線	-		
	その他	5	路線	8,100		
	計	5	路線	8,100		
改良	基幹	3	路線	50	3	
	その他	-	路線	-	-	
	計	3	路線	50	3	
<b>根釧西部森林管理署</b>						
その他	開設	薫祢	2081	1,000		釧路市
		サンタクンベ	18	2,000		釧路町
		大平尾幌分線	58, 59	1,800		厚岸町
		厚床横断	3043	3,800		浜中町
		西丸山	3414, 3417, 3418	4,000		標茶町
		阿歴内支線	281	1,900		〃
		別保上尾幌	51, 54	640		〃
		弟子屈連絡	3404	2,200		〃
		第4札友内支線	4111	1,100		弟子屈町
		第5札友内	4112, 4113	1,400		〃
計	10 路線		19,840			
基幹	改良	新縫別		153	1	白糖町、橋梁工
	計	1 路線		153	1	
<b>根釧西部森林管理署計</b>						
開設	基幹	-	路線	-		
	その他	10	路線	19,840		
	計	10	路線	19,840		
改良	基幹	1	路線	153	1	
	その他	-	路線	-	-	
	計	1	路線	153	1	
<b>森林計画区合計</b>						
開設	基幹	-	路線	-		
	その他	15	路線	27,940		
	計	15	路線	27,940		
改良	基幹	4	路線	203	4	
	その他	-	路線	-	-	
	計	4	路線	203	4	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

4 治山に関する事項

位置	区分	工種	計 画 量	備 考
<b>根釧東部森林管理署</b>				
鱒川 457林班	保全施設	溪間工	1 箇所	中標津町
春刈古丹川 204, 209林班	保全施設	溪間工	2 箇所	羅臼町
精神川 216林班	保全施設	溪間工	2 箇所	〃
オッカバケ 244林班	保全施設	溪間工	2 箇所	〃
栄町 232林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
落石 1005, 1006林班	保安林の整備	植栽工	10 ha	根室市
中標津 440, 444~453, 455, 458~470, 472, 473, 477, 480	保安林の整備	本数調整伐	588 ha	中標津町
根釧東部森林管理署計	保全施設	溪間工	7 箇所	
		山腹工	1 箇所	
		計	8 箇所	
	保安林の整備	植栽工	10 ha	
		本数調整伐	588 ha	
		計	598 ha	
<b>根釧西部森林管理署</b>				
中ノ沢 2003林班	保全施設	溪間工	1 箇所	釧路市
知茶布 2011, 2012林班	保全施設	溪間工	1 箇所	〃
上飽別 2078, 2079林班	保全施設	溪間工	1 箇所	〃
尾札部 4144林班	保全施設	溪間工	1 箇所	弟子屈町
左股 1055林班	保全施設	溪間工	1 箇所	白糠町
雄別 2043林班	保全施設	山腹工	1 箇所	釧路市
白水 2081林班	保全施設	山腹工	1 箇所	〃
茂雪裡 110, 111林班	保安林の整備	植栽工	59 ha	鶴居村
根釧西部森林管理署計	保全施設	溪間工	5 箇所	
		山腹工	2 箇所	
		計	7 箇所	
	保安林の整備	植栽工	59 ha	
		本数調整伐	- ha	
		計	59 ha	
森林計画区合計	保全施設	溪間工	12 箇所	
		山腹工	3 箇所	
		計	15 箇所	
	保安林の整備	植栽工	69 ha	
		本数調整伐	588 ha	
		計	657 ha	



5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区域

種 類	名 称	新設・ 既設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	特 徴 等
森林生態系 保護地域	根釧東部森林管理署				
	知床 森林生態系保護地域	既設	22,723.60	別表 参照	海岸線から高山に至る変化に富んだ植物相、大小の山岳湖沼に見られる湿性植物群落、希少種を始め多様な種類の鳥類、ほ乳類等からなる生態系を有する。これらに係る原生的な天然林を保存することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保存を図る。
	(保存地区)		13,979.34		
	(保全利用地区)		8,744.26		
	計		22,723.60		
森 林 計 画 区 計	1箇所	22,723.60			
林木遺伝資源 保存林	根釧東部森林管理署				
	帯広トドマツ6 林木遺伝資源保存林	既設	18.37	別表 参照	トドマツ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広グイマツ9 林木遺伝資源保存林	既設	2.32	別表 参照	グイマツ林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広アカエゾマツ31 林木遺伝資源保存林	既設	1.78	別表 参照	アカエゾマツ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	根釧西部森林管理署				
	帯広ウダイカンバ1 林木遺伝資源保存林	既設	5.66	別表 参照	ウダイカンバ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広イチイ2 林木遺伝資源保存林	既設	6.00	別表 参照	イチイ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広アオダモ・イチイ3 林木遺伝資源保存林	既設	29.53	別表 参照	アオダモ、イチイ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広ダケカンバ4 林木遺伝資源保存林	既設	8.67	別表 参照	ダケカンバ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広エゾマツ5 林木遺伝資源保存林	既設	23.90	別表 参照	エゾマツ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広アカエゾマツ7 林木遺伝資源保存林	既設	12.69	別表 参照	アカエゾマツ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広ハルニレ8 林木遺伝資源保存林	既設	36.21	別表 参照	ハルニレ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広ネムロトドマツ10 林木遺伝資源保存林	既設	4.58	別表 参照	ネムロトドマツ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	帯広シロエゾマツ11 林木遺伝資源保存林	既設	3.31	別表 参照	シロエゾマツ天然林を保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。
	森 林 計 画 区 計	12箇所	153.02		
植物群落 保護林	根釧東部森林管理署				
	海別岳 植物群落保護林	既設	1,081.97	別表 参照	高山植物群落が、頂上直下のガレ地を中心に分布し、また、頂上付近にあっては、その分布が、ハイマツ群落とのモザイク状の様相となる。 また、緑の回廊の拠点となる保護林である。
	斜里岳 植物群落保護林	既設	816.19	別表 参照	標高1,400m付近では、ダケカンバ・チシマザサ群落に代表される植生であり、また、山頂部の断崖、崩壊地、砂礫地に適応した多様な高山植物群落を形成している。 また、緑の回廊の拠点となる保護林である。

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等	
植物群落保護林	サカイツツジ天然生保護林	既設	74.03	別表参照	サカイツツジの南限地帯として天然記念物に指定されている。	
	アカエゾマツ天然生保護林	既設	10.50	別表参照	生育が阻害された(気象、土壌等)異形のアカエゾマツが群落で自生しており、貴重な植物の自生地帯の保護を図り学術研究に資する。	
	イチイ純林保護林	既設	5.01	別表参照	天然のイチイが高密度で純林を形成し、通常は森林の下層に位置しているイチイが上層に位置し、極めて特異なイチイ群落として学術的価値が高い。	
	根釧西部森林管理署					
	雌阿寒トドマツ保護林	既設	129.42	別表参照	道内一般的な垂直森林分布様式(ハイマツ→ダケカンバ→針広混交林→針葉樹林)と異なり、直接ハイマツ帯からトドマツ林に移行し、さらには珍しい品種(カラフトトドマツ)の群落であり、学術的にも極めて特異なものである。	
	硫黄山原生保護林	既設	89.26	別表参照	標高わずか160m前後のところにエゾイソツツジ、エゾシャクナゲ、ハイマツ等数種の高山植物の大群落が見られ他に類例を見ない貴重な植物地帯である。	
	アカエゾマツ原生保護林	既設	105.19	別表参照	平坦地に分布する単層林の原生アカエゾマツ天然林として学術的に貴重な存在である。	
	イチイ原生保護林	既設	3.10	別表参照	イチイの原生林が凹部に集団生育し、学術的価値が高い。	
	雄阿寒岳原生植物群落保護林	既設	3,758.52	別表参照	雄阿寒岳山麓一帯に広がるエゾマツ、アカエゾマツ、トドマツを主体とする針葉樹林は、過去に森林施業が行われた形跡が認められず、良好な原生状態を維持している。	
	森林計画区計		10箇所	6,073.19		
特定動物生息地保護林	根釧東部森林管理署					
	シマフクロウ生息地保護林	既設	357.17	非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	
	シマフクロウ生息地保護林	既設	1,520.36	非公開		
	シマフクロウ生息地保護林	既設	943.83	非公開		
	野付半島保護林	既設	301.39	別表参照	タンチョウ及びオジロワシの繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	
	根釧西部森林管理署					
	別寒辺牛タンチョウ生息地保護林	既設	2,411.59	別表参照	タンチョウの繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	
	シマフクロウ生息地保護林	既設	419.20	非公開	シマフクロウの繁殖地、生息地等の保護を図り、併せて学術研究等に資する。	
森林計画区計		6箇所	5,953.54			
森林計画区合計		29箇所	34,903.35			

(2) 緑の回廊の名称及び区域

種類	名称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	特徴等
緑の回廊	根釧東部森林管理署				
	知床半島緑の回廊	既設	6,920.19 (36km)	別表参照	海岸部から高山帯に至る変化に富んだ森林の多くに動物が生息する「知床森林生態系保護地域」と、山頂部を中心とした地域にハイマツや豊富な高山植生が分布する「斜里岳、海別岳植物群落保護林」を結ぶ回廊であり、主としてハイマツ、高山植物からなる。貴重な野生生物等の広域化や相互交流により効果的な森林生態系の保全を図る。
	森林計画区計	1箇所	6,920.19		
	森林計画区合計	1箇所	6,920.19		

6 レクリエーションの森の名称及び区域

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考	
自然休養林	根釧西部森林管理署									
	昆布森シレバ 自然休養林 * (森林スポーツゾーン) (風景ゾーン) * (風致探勝ゾーン)	既設	1,645.76 155.26 418.76 1,071.74	別表 参照	自然探勝、キャン プ、海岸礁の眺望の ための利用に供す る。	複 天	歩道外 (国) 園地 (釧路町)	歩道 延長 4,275m 外	「*」 は、保 健機能 森林に 該当す る森林	
	森林計画区計	1箇所	1,645.76							
	根釧東部森林管理署									
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	羅臼 野外スポーツ 地域	既設	11.05	別表 参照	隣接する民地の施 設と相まってスキ ー場として、また、山 頂からの北方領土の 眺望等の利用に供す る。	天	スキー場 (羅臼町)			
	金山峡 野外スポーツ 地域	既設	87.15	別表 参照	国道沿いに隣接 し、夏は忠類川の溪 流、溪谷の造形美等 自然を満喫できる景 勝地として、冬はス キー場としての利用 に供する。	複 天	スキー場 (標津町)			
	根釧西部森林管理署									
	阿寒湖畔 野外スポーツ 地域	既設	81.62	別表 参照	温泉、湖、山岳、 森林等の自然的資源 に恵まれ、登山、森 林浴等の場としての 利用に供する。	複	スキー場 (釧路市)			
	美羅尾 野外スポーツ 地域	既設	84.29	別表 参照	スキー場に適した 地形、積雪の自然条 件を備え、スキー場 としての利用に供す る。	複 天	スキー場 (民間)			
	森林計画区計	4箇所	264.11							
風 景 林	根釧東部森林管理署									
	長節湖風景林	既設	197.78	別表 参照	長節湖と周辺の湿 地を核とした自然美 の利用に供する。	天	遊歩道外 (根室市)			
根釧西部森林管理署										
雌阿寒風景林	既設	2,428.82	別表 参照	雌阿寒岳の山麓一 帯に広がるアカエゾ マツの純林及びトド マツを主体とした針 広混交林の優れた景 観の維持・造成を図 り、自然美の利用に 供する。	複 天	遊歩道 (釧路総 合振興 局)				

種類	名 称	新設・既設	面積 (ha)	位置 (林小班)	選 定 理 由	施業方法	既存施設の概要	施設整備	備 考
風景林	雄阿寒風景林	既設	5,029.97	別表参照	阿寒湖、パンケトー、ペンケトーの神秘的な湖沼の背景として、エゾマツ、トドマツを主体とする原生的な森林の優れた景観の維持・造成を図り、自然美の利用に供する。	複天	遊歩道外 (釧路総合振興局及び釧路市)  庭園外 (民間)		
	屈斜路風景林	既設	8,657.95	別表参照	山岳、森林、湖等の自然美を有し、屈斜路湖の近景林として優れた景観の利用に供する。	複天 間伐 256.91 ha	野営場外 (釧路総合振興局) 園地外 (オホーツク総合振興局) 船遊施設外 (民間)		
	川湯風景林	既設	4,680.87	別表参照	硫黄山、屈斜路湖の近景林としての自然景観の利用に供する。	複天 間伐 693.33 ha	駐車場外 (釧路総合振興局) 休憩舎 (民間)		
	摩周風景林	既設	840.12	別表参照	摩周湖の近景林としての自然景観の利用に供する。	複天 間伐 5.91 ha	園地外 (釧路総合振興局) 休憩舎 (民間)		
	森林計画区計	6箇所	21,835.51						
その他の森施設敷	根釧東部森林管理署								
	トド原探勝路	既設	0.86	別表参照	トドマツの枯木原と原生花園への探勝路としての利用に供する。		木道外 (別海町)		
	森林計画区計	1箇所	0.86						
	森林計画区合計	12箇所	23,746.24						

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単=育成単層林へ導くための施業 複=育成複層林へ導くための施業  
天=天然生林へ導くための施業

## 7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

種類	名称	設定年	面積 (ha)	位置 (林小班)	備考
遺伝子保存林	根釧東部森林管理署				
	トドマツ根室 優良遺伝子群保存林	昭和45年	5.21	1026 い	林木育種事業を計画的、能率的に実施するため現存する林木の優良遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用する。
	根釧西部森林管理署				
	アカエゾマツ弟子屈A 遺伝子保存林	昭和51年	4.70	4302 ら	林木育種事業を計画的、能率的に実施するため現存する林木の優良遺伝子群を確保し、これを保存し、遺伝子補給源として活用する。
	アカエゾマツ弟子屈B 遺伝子保存林	昭和51年	2.85	4249 か	
	森林計画区計	3箇所	12.76		
精英樹保護林	根釧西部森林管理署				
	ダケカンバ標茶105号 精英樹保護林	昭和40年	8.67	250 る8	精英樹を次代検定が完了するまで保存するため、精英樹を選定した林分を保存する。
	ウダイカンバ白糖102号 精英樹保護林	昭和38年	0.25	1088 た1	
	ヤチダモ白糖101号 精英樹保護林	昭和61年	0.12	1139 い1	
		森林計画区計	3箇所	9.04	
検定林	根釧東部森林管理署				
	北帯14号地域差検定林	平成4年	3.00	1005 ろ1	精英樹選抜育種事業実施要領に基づき、一群の精英樹系統種苗が揃って良好な成長を示す地域(適応範囲)を判定し、種苗の配布区域を定める目的で設定された検定林。
	北帯4号一般次代検定林	昭和60年	1.10	1025 つ1	精英樹選抜育種事業実施要領に基づき、選抜育成された精英樹系統種苗の遺伝的特性を明らかにするために設定された検定林。
	根釧西部森林管理署				
	北帯6号地域差検定林	昭和63年	6.07	21 り	種苗の良好な成長を示す地域の判定により、種苗の配布区域を定めるために設定する。
	北帯8号地域差検定林	昭和63年	5.50	4463 ほ	
	北帯15号地域差検定林	平成4年	2.00	4463 ほ1	
	北帯13号一般次代検定林	平成4年	4.00	2140 ら	選抜育成された精英樹系統種苗の遺伝的特性の解明を目的として設定する。
	北帯12号遺伝試験林	平成2年	1.81	83 ふ	精英樹及びそれらの人工交雑等によって育成された林木の成長量に関する遺伝特性を解明する目的で設定する。
			2.19	83 こ	
	計	4.00			
	森林計画区計	7箇所	21.48		
施業指標林	根釧東部森林管理署				
	ダケカンバ二次林の間伐施業指標林	平成5年	3.56	97 れ	ダケカンバ二次林の間伐実施箇所において、成長過程の推移及び適切な林分を維持するための施業仕組みの方法等を調査し、間伐技術の確立を図る。
			8.13	97 れ1	
		計	11.69		
	根釧西部森林管理署				
	トドマツ人工林の 施業指標林	昭和62年	18.97	293 い1	天然更新に配慮した間伐、植込み等の施業を行い、将来複層林型に誘導するための施業方法を実践し、トドマツ人工林施業方法の指標とする。
			0.71	293 に	
4.17			293 と1		
1.03			293 か		
	計	4.33	293 よ		
	計	29.21			

種類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
施業 指標 林	ペケレドマツ高齢人工林 間伐施業指標林	昭和55年	5.27	4077 な	種々の異なった間伐を試み、合理的でかつ実践的な間伐技術体系を確立する。
	屈斜路 施業指標林	昭和59年	13.65	4187 は	森林の風致維持を考慮し、それぞれの林分に適合した路網の作設及び施業を行い、今後の森林施業の指標とする。
			20.13	4187 に	
			28.69	4187 ほ	
			27.62	4187 ほ1	
計		90.09			
森 林 計 画 区 計	4箇所	136.26			
展 示 林	根釧西部森林管理署				
	イチイ展示林	昭和63年	1.59	31 え	イチイの自生地として貴重な林分であるため。
	森 林 計 画 区 計	1箇所	1.59		
試 験 地	根釧東部森林管理署				
	天然林成長量固定 試験地	昭和27年	4.00	39 い	成長量、枯損量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため。
	中標津養老牛カラマツ 人工林収穫試験地	昭和40年	1.04	455 い	収穫試験施業要綱に基づき設定する。
			0.85	1107 な	
			0.35	1107 な1	
	計		1.20		
	根室トドマツ産地 試験地	昭和44年	4.32	1024 い	母樹林からの実生苗集団を育成し、その諸形質の差異を検討して、種子需給区域を決めるため。
	根釧西部森林管理署				
	天然林成長量固定 試験地	昭和25年	10.68	2046 い	成長量、枯損量及び林分構造の推移を把握検討し、地域管理経営計画樹立の基礎資料を収集するため。
		昭和25年	8.00	4043 い	
		昭和26年	4.85	57 い	
		昭和27年	1.00	1142 い	
		昭和27年	2.51	4224 い	
		昭和28年	4.00	301 い	
	計		31.04		
	弟子屈森林施業 試験地	昭和25年	2.76	4298 ろ	過熟天然林を生産性の高い択伐林に誘導する森林施業の基礎資料を収集するため。
			0.26	4298 は	
	計		3.02		
	弟子屈トドマツ 人工林収穫試験地	昭和37年	0.81	4023 い	収穫試験施業要綱に基づき設定する。
	標茶太田カラマツ 人工林収穫試験地	昭和40年	1.00	224 い	
	ペケレドマツ 人工林収穫試験地	昭和40年	1.00	4077 ろ	
	P・Fカラマツ 施業試験地	昭和48年	3.45	222 ろ1	カラマツ人工林間伐技術の体系化を図るとともに、間伐跡地の二代目造林方法の確立を図るため。
			0.96	222 ろ2	
4.38			230 い1		
8.87			230 い2		
計		17.66			

種類	名 称	設定年	面積 (ha)	位 置 (林小班)	備 考
試験地	カラマツ人工林の施業方法 試験地	昭和49年	4.59	234 い	標茶パイロットフォレストにおける 技術開発の成果と今後の方向を検 討する。
			15.00	234 い1	
			20.00	234 い2	
			10.44	235 は	
			28.41	235 は1	
			18.92	235 に	
			57.13	236 は	
計	154.49				
試験地	屈斜路アカエゾマツ 人工収穫試験地	平成12年	1.00	4108 ほ1	収穫試験施業要綱に基づき設定 する。
	弟子屈天然林成長 試験地	平成15年	8.00	4047 い	天然林の成長試験のため。
	雷別地区トドマツ天然更新 実証・実験林	平成28年	7.20	290 に1	天然更新を活用してトドマツ人工林 を効率的に更新・密度管理する施業 タイプを開発する。
			12.16	295 は5	
計	19.36				
森 林 計 画 区 計		14箇所	247.94		
母樹林	根釧西部森林管理署				
	上尾幌雑種カラマツ (育種母樹林)	昭和37年	7.28	52 イ	林業種苗法に基づく育種又は普 通母樹林
	奥春別アカエゾマツ (育種母樹林)	昭和41年	0.69	4074 イ	
			5.27	4074 ロ	
計	5.96				
森 林 計 画 区 計		2箇所	13.24		
モデル林	根釧東部森林管理署				
	水土保全モデル林	平成12年	6.31	1114 ね	気象害防備(防風保安林)機能を 高めるため、昭和28年植栽のカラマ ツ人工林に、昭和49年下木としてト ドマツの植栽を行い、二段林型の複層 林に誘導した林分。
	根釧西部森林管理署				
	水土保全モデル林	平成12年	3.45	222 ろ1	水源涵養(水源かん養保安林)機 能を高めるため、昭和32年植栽のカ ラマツ人工林に、昭和49年下木と してトドマツの植栽を行い、二段林型 の複層林に誘導した森林。
	水土保全モデル林	平成12年	7.30	50 む	水源涵養(水源かん養保安林)機 能を高めるため、大正9年植栽のト ドマツ人工林で、間伐の繰返しにより、 下層にトドマツや広葉樹の侵入が見 られる下層植生の発達した森林。
森 林 計 画 区 計		3箇所	17.06		
森 林 計 画 区 合 計		37箇所	459.37		



(2) フィールドの提供

対象地 (林小班)	設定の目的	備考
根釧東部森林管理署		
508 い2、に1	遊々の森 (クテクン自遊の森)	協定面積:10.10ha 中標津町教育委員会
根釧西部森林管理署		
20 ほ 44 い	社会貢献の森 (くしろ森林サポーターの会創立10周年記念の森)	協定面積:34.19ha くしろ森林サポーターの会
森林計画区合計	2箇所	面積:44.29ha

(3) 森林共同施業団地

名称	対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した施業 の内容	備考	
根釧東部森林管理署					
別海町中春別地区 森林共同施業団地	民	362林班10、13~27、38~ 41、44、46~49、139小班 363林班1~3、6、46、63~ 67、80、82、83、85、101~ 104、172小班	144.64	森林整備、路網整備	協定相手: 別海町、別 海町森林組 合、個人森 林所有者
	国	1106林班り、り1、り2、 ち1、ち2、ち3、ニ、オ小班	28.26	森林整備、路網整備	
中標津町南中地区 森林共同施業団地	民	24林班1~3、6~10、32、35 ~42小班	79.06	森林整備	協定相手: 中標津町、 当幌愛林会
	国	615林班	115.62	森林整備、路網整備	
標津町川北地区 森林共同施業団地	民	86林班17、22、24、28、36~ 38、40、41、200~205小班 88林班26、33、35、36、49、 50小班	18.30	森林整備、路網整備	協定相手: 標津町、個 人森林所有 者
	国	301林班	81.79	森林整備、路網整備	
根釧西部森林管理署					
弟子屈地域森林整備 に関する協定	民	29林班3~10、12小班 32林班7~11、13、14、16~ 18、22、23、30、33~38、 40、43、45~47、49、62、63 小班	312.41	森林整備、路網整備	協定相手: 弟子屈町
	国	4006(ハ小班を除く)、4456~ 4457、4458(と~る2、ロ、ハ 小班を除く)林班	937.45	森林整備、路網整備	
森林計画区合計	民		554.41	4箇所	
	国		1163.12		
	計		1,717.53		

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 小 班)	面 積 (h a)	連携した施業 の内容	備 考	
根釧東部森林管理署					
別海町中春別地区 森林共同施業団地	民	362林班10、13~27、38~ 41、44、46~49、139小班 363林班1~3、6、46、63~ 67、80、82、83、85、101~ 104、172小班	144.64	森林整備、路網整備	協定相手： 別海町、別 海町森林組 合、個人森 林所有者
	国	1106林班り、り1、り2、 ち1、ち2、ち3、ニ、オ小班	28.26	森林整備、路網整備	
中標津町南中地区 森林共同施業団地	民	24林班1~3、6~10、32、35 ~42小班	79.06	森林整備	協定相手： 中標津町、 当幌愛林会
	国	615林班	115.62	森林整備、路網整備	
標津町川北地区 森林共同施業団地	民	86林班17、22、24、28、36~ 38、40、41、200~205小班 88林班26、33、35、36、49、 50小班	18.30	森林整備、路網整備	協定相手： 標津町、個 人森林所有 者
	国	301林班	81.79	森林整備、路網整備	
根釧西部森林管理署					
弟子屈地域森林整備 に関する協定	民	29林班3~10、12小班 32林班7~11、13、14、16~ 18、22、23、30、33~38、 40、43、45~47、49、62、63 小班	312.41	森林整備、路網整備	協定相手： 弟子屈町
	国	4006(ハ小班を除く)、4456~ 4457、4458(と~る2、ロ、ハ 小班を除く)林班	937.45	森林整備、路網整備	
森林計画区合計	民		554.41	4箇所	
	国		1163.12		
	計		1,717.53		